



OKAYAMA UNIV.

無限可能性は



平成30年度

# 岡山大学病院 研修プログラム

岡山大学病院卒後臨床研修センター医科研修部門





### 完全オーダーメイド

ローテーションは完全オーダーメイド出来ます。generalからspecialまで、内科、外科からすべての専門診療科まで、あなたの将来に沿った唯一無二のローテーションと一緒に考えましょう。

# Special

岡山大学病院研修プログラム

3つのS



OKAYAMA UNIV.

# Selective

# Super Academic

### 多彩な協力型病院

100以上の協力型病院でたすき掛け研修が可能です。commonから希少疾患まで、1次から3次救急まで、手技から臨床推論まで、多彩な経験と考察力でステップアップしましょう。

### ARTプログラム

研究の視点を持った臨床医、physician-scientistとして、充実した研修が可能です。EBMを使うだけでなく、EBMを作り出しましょう。

## 向きあう、つながる、広がる

私は、私たちの働いている岡山大学病院が大好きです。岡山大学病院には、患者さんに誠実に明るく接し、患者さんのために労苦をいとわない素晴らしい職員にあふれているからです。ですから、多くの患者さんは、岡山大学病院を好ましく思い、頼りにしてくださっていると思います。

そんな私たち岡山大学病院の使命は、特定機能をもつ大学病院として患者さんに最先端の医療を提供することですが、もう一つの大事な使命は、有用な医療人を多く育成して社会に貢献することです。私たちが岡山大学病院に育ててもらったように、私たちも若い仲間を岡山大学病院で慈しみ育て、やがてその若い仲間が彼らの後輩たちをまた育てる、そのような教育の循環こそが、岡山大学病院の大きな財産だと思います。

大学病院での研修にしかできないこと、それは、大学病院ならではの科学的な臨床マインドを多くのスタッフから学び、その実践を医療の現場でともに展開し、ともに成長することだと思います。岡山大学病院の卒後臨床研修センターは、今やわが国でも有数の教育スタッフ、内容、そして設備を有する卒後臨床研修センターになりました。柔軟性に富む様々なプログラムが、医療人としての広い視野と心構え、確実な医療技術を育成します。岡山大学病院での充実した研

修だけでなく、中国四国地方を中心として連携する多くの関連病院での実践的な研修も合わせ、若き医師たちが、医師としての人生のスタートを歩み出し、悩み、成長していく過程をしっかりと積み重ねていくには最適な環境です。

研修医の皆さんが学ぶ私たちの岡山大学病院は、患者さんやそのご家族と真摯に「向きあい」、地域の方々や社会と密接に「つながり」、世界に羽ばたいて「広がる」ことを目指しています。Facing your Face, Facing our community, Facing the World、研修医の皆さん、未来の素晴らしい医療人を目指して一緒に働き、学びましょう。

岡山大学病院 病院長・卒後臨床研修センター長

金澤 右





## 岡山大学病院の理念・基本方針

### — 理念 —

高度な医療をやさしく提供し、優れた医療人を育てます。

### — 基本方針 —

人間性豊かな医療環境の実現

先進医療の開発と提供

効率的医療の提供

創造力豊かな医療人の育成

岡山大学病院 卒後臨床研修センターの研修医は

## 個性を生かした、未来の医療界リーダーを目指す！

「医師」は生涯向上し続け、患者やコメディカルから信頼される優れた**臨床医**になるだけでなく、**教育者**として、学生や後輩の教育・患者教育に携わりながら、未来の医療を育てることも必要です。さらには、**研究者**として探究心を持ち、現代の医学では原因不明な疾患の病態や治療法を解明すれば、全世界の患者さんを救うことにつながります。

岡山大学病院では、各研修医の個性を伸ばし、優れた臨床医、優れた臨床教育者、優れた研究者をここ岡山、そして日本へ、さらには世界へと、グローバルな視点をもつ未来の医療界リーダーを育成したいと考えています。そのための努力は惜しみません。

さあ、私たちと一緒に歩き始めましょう！

## 岡山大学の伝統を礎に、 知識・技能とハートを備えた次世代の医師を育成します。

岡山大学医学部は、140年以上の長い歴史と伝統に育まれてきました。創立以来、岡山大学医学部からは、我が国の医療を担う多くの優秀な臨床医のみならず、素晴らしい研究者も輩出してきました。学術的にも臨床的にも大変魅力のある医学部であり、その伝統を背景に、岡山大学医学部では診療や研究を支援いただける約250の関連病院を有していることが特長です。

平成22年の卒後臨床研修制度の改定により、より柔軟な研修方式が運用できるようになりました。岡山大学病院卒後臨床研修センターでは、研修医の先生の希望やニーズに応じた研修ができるようにプログラムを改良してきました。研修2年目を中心に専門研修ができる先進プログラム・産科婦人科特別プログラム・小児科特別プログラムを設定しておりますが、今年度から新たに加わる研修施設を含め、現在約100施設の岡山大学グループの協力型研修病院と相互に協力して若手医師を育成する方針です。複数の研修病院と連携した柔軟性の高いコース設定を行い、各医師の研修目標に見合う自由度の高いプログラムを組めるよう工夫しました。またグローバルな視野をもつ医療人を育成するために、海外研修プログラムや海外からの招聘カンファレンスも多数準備しています。

さらに、臨床トレーニングと併行して基礎研究や臨床研究を希望する方には、ART (advanced research training) プログラムを活用し、大学院生と

して臨床に加えて積極的に研究に参加できる画期的な研修システムも選択できます。臨床医にとって、認定医や専門医を目指して研鑽することはもちろん重要ですが、同時にリサーチマインドを持ち続けることも大切です。医学の発展に欠かせない科学的探究心を持った医師つまりPhysician Scientistとして、将来の学部・岡山大学を牽引する人材に育ってほしいと考えています。

岡山大学病院では、「あなたのそばに先進医療」というモットーに表されるように、常に患者さんのそばにあり、高度な医療を提供するハートを持つことを大切にしています。皆さんが岡山大学病院でこれから卒後臨床研修を始めることは、他では経験することのできない素晴らしい医師生活の第一歩になると思っています。次世代の医療を担う皆さんにとって、岡山大学病院での研修が、知識・技能の習得に加えて、様々な診療現場で日々の感動をハートに刻み、その積み重ねと仲間との共有が大切な経験となり医師の糧となる、そんな貴重な研修医生活になると確信しています。皆さん、是非一緒に岡山大学病院で輝ける次世代医師への第一歩を踏み出しましょう。

岡山大学病院 卒後臨床研修センター医科研修部門長

大塚 文男

# 研修プログラム紹介



## 基本のローテーション

- ・ 必修科と選択科の合計 24 ヶ月
- ・ 大学病院または研修協力病院（施設）群で研修
- ・ 大学病院にて 8 ヶ月以上の研修
- ・ 選択必修研修は大学病院で行う
- ・ 地域医療は 2 年目で研修
- ・ 協力型施設での研修は 3 ヶ月以内

## 研修の概要

研修医は医師卒後臨床研修に必要とされる基本的な疾患・病態、および症状について、実践医療の現場で患者やその家族の立場を理解したうえでこれらを修得します。また、全人的な医療の遂行者としての医学知識、医療技術および医師としての基本的な態度を身につけることを目指します。

必修科として内科 6 ヶ月、救急 3 ヶ月、選択必修科目 3 ヶ月を院内または中四国を中心とした 100 以上の協力型病院で履修し、地域医療研修 1 ヶ月については岡山県内を中心とし、地域医療病院、へき地・離島、地域診療所グループにおけるプライマリケア研修を取り入れ、地域医療への積極的な参加が図られるよう計画されています。岡山大学病院での先進医療や協力型病院での common な疾患の経験は、研修医のニーズに十分に應えるものです。また、必修科以外は選択科として専門研修に準じた研修が可能である他、研修医の希望に沿った複数科

ローテーション研修も可能であり、オーダーメイドの研修が可能です。

教育体制は非常に整っており、オリエンテーション研修（約 2 週間）では医師としての倫理、法制等に関する講習、研修の目標設定、多彩な実習（新人看護師との合同スキルトレーニング・コミュニケーション実習、ICLS、シミュレーショントレーニング、輸液、外科縫合、医療安全など）を行います。またシミュレーショントレーニング、研修医主導の weekend lecture、海外招聘講師によるワークショップと様々な教育の機会が完備されています。

また、研修医それぞれに研修医の進路や研修についてアドバイスを行う相談指導医が決まっており、きめ細やかな指導が可能です。専任教官、事務は研修医室の隣に常駐しており、研修医の日常的な相談にいつでも対応できる態勢です。月 1 回の臨床研修会議では研修医の意見が活発に出され、より良い研修へと日々成長を続けています。

## 1 岡山大学病院先進プログラム 2018

岡山大学病院先進プログラムは、どの科を希望する方にも対応できるプログラムです。本プログラムの希望者の方は、選択科研修において複数科のローテート研修を行うことも、専門科研修に準じた研修を行うことも可能です。

standard	通常の先進プログラム。すべての診療分野希望者対象。
ART	大学院早期スタートと卒後臨床研修を両立するプログラム。奨学金制度あり。 ※ARTプログラム詳細については14ページに記載
必修科：	内科（6 ヶ月）、救急（救急外来夜間・休日勤務を含む 3 ヶ月）、選択必修（3 ヶ月：外科系、麻酔科、産科婦人科、小児科、精神科より 2 科以上）、地域医療（地域中核病院研修、へき地・離島医療研修、在宅医療を含む診療所研修など 1 ヶ月）
選択科：	総合内科、消化器内科、血液腫瘍呼吸器アレルギー内科、腎免疫内分泌代謝内科、循環器内科、神経内科、消化管外科、肝・胆・膵外科、小児外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、形成外科、救急科、麻酔科蘇生科、放射線科、精神科神経科、産科婦人科、小児科、小児神経科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、病理診断科／病理部：合計 11 ヶ月



### 先進プログラム 例 1 岡山大学病院中心のローテート（院内 23 ヶ月＋院外 1 ヶ月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年目	内科（必修） 院内 6						外科系・麻酔・産婦・小児・精神 （選択必修）院内 3			救急（必修） 院内 3		
2 年目	地域医療 （必修）1	選択科 院内 11										

### 先進プログラム 例 2 岡山大学病院と市中病院をローテート（院内 10.5 ヶ月＋院外 13.5 ヶ月）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年目	選択科 院内 3		救急（必修） 院内 1.5		救急（必修） 院外 1.5	外科系・麻酔・産婦・小児・精神 （選択必修）院内 3			選択科 院内 3			
2 年目	地域医療 （必修）1	内科（必修） 院外 6						選択科 院外 5				





**先進プログラム 例3 市中病院中心のローテート（院内 8.5 ヶ月+院外 15.5 ヶ月）**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	内科（必修） 院内 3			外科系・麻酔・産婦・小児・精神 （選択必修）院内 3			救急（必修） 院内 1.5		救急（必修） 院外 1.5		内科（必修） 院外 3	
2年目	地域医療 （必修）1	選択科 院外 10									選択科 院内 1	

**先進プログラム 例4 AGM コース（Amazing General Medicine Course）**

初期研修2年間で可能な限り「現場力」をつけることを目的としたコースです。  
現場で即戦力になれる力をつけるために、熱い指導医陣と豊富な経験ができる現場が揃った「こんなコースがあったらいい、でも見たことがない」コースです。  
本コース希望者には generalist のメンターによる定期的な現場力の評価とフィードバックを行いながら実力UPをサポートします。

- ①救急：岡山市民病院と岡山大学病院高度救命救急センターを組み合わせた幅広い経験！
- ②内科：大学病院内科/市中病院内科を組み合わせオリジナルの研修！
- ③地域：奈義ファミリークリニック、哲西町診療所など地域医療の最前線でみっちり研修、現場力をUP!
- ④選択：学内：プライマリケアに必要なエッセンシャルミニマムに絞った各科研修。  
学外：福井大学病院救急部・総合診療部、東京ベイ浦安・市川医療センター、飯塚病院、音羽病院をはじめ多彩な研修先から選択。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目	総合内科		消化器内科		岡山市民病院内科			岡山市民病院 ER		救急科		整形外科 麻酔科	
2年目	麻酔科		奈義ファミリー クリニック		東京ベイ浦安・市川医療センター/ 福井大学病院救急部・総合診療部			希望の市中病院					

**2 岡山大学病院産科婦人科特別プログラム2018**

必修科	内科（6ヶ月）、救急（救急外来夜間勤務・休日を含む3ヶ月）、 選択必修（3ヶ月：産科婦人科必修2ヶ月及び、外科系、麻酔科、小児科、精神科より1科）、 地域医療（1ヶ月：地域産婦人科医療中核病院）	選択科	産科婦人科を中心として11ヶ月
-----	---	-----	-----------------

**産科婦人科プログラムローテート例**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	産婦（選択必修） 院内 2		内科（必修） 院内 6				救急（必修） 院内 1.5		救急（必修） 院外 1.5		精神（選択必修） 院内 1	
2年目	産婦（選択） 院外 6				地域医療（必修） 院外 1		麻酔（選択） 院内 3			病理（選択） 院内 2		

**3 岡山大学病院小児科特別プログラム2018**

必修科	内科（6ヶ月）、救急（救急外来夜間勤務・休日を含む3ヶ月）、 選択必修（3ヶ月：小児科必修2ヶ月及び、外科系、麻酔科、産科婦人科、精神科より1科）、 地域医療（1ヶ月：地域小児科医療中核病院）	選択科	小児科を中心として11ヶ月
-----	--	-----	---------------

**小児科プログラムローテート例**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年目	内科（必修） 院内 6						救急（必修） 院内 1.5		救急（必修） 院外 1.5		小児（選択必修） 院内 2		精神（選択必修） 院内 1
2年目	地域医療（必修） 院外 1	小児（選択） 院外 11											



# 研修プログラム紹介 [必修科・選択科研修]

## 〈必修科研修〉

A

内科

内科研修は、院内もしくは院外の協力型病院（内科必修研修先）から選択し、6ヶ月間研修する。

### ①院内を中心とした研修

総合内科	消化器内科	血液腫瘍呼吸器アレルギー内科
腎免疫内分泌代謝内科	神経内科	循環器内科

上記の内科から選択し、6ヶ月間研修する。

### ②院外を中心とした研修：内科（必修）を協力型研修病院にて研修する。

### ③院内・院外の内科を組み合わせることも可能である。

#### 一般目標

基本的な内科疾患をまんべんなく経験し、医師としての基礎的な考え方、問題解決能力、臨床推論の力を身につける。

#### 行動目標

1. 患者の問題点を全人的に把握できるための、医療面接、身体所見のとり方を身につける。
2. 患者の問題点を系統的に把握し、自ら解決できる問題点と解決できない問題点を適切に判断し、解決できない問題点には適切にコンサルテーションできる。
3. チーム医療の一員として、幅広い職種の医療従事者と協調してチーム医療を実践し、医療記録を適切に作成、管理できる。



B

救急部門

救急部門研修は、院内もしくは院外の協力型病院における救急部門研修を組み合わせ（合計3ヶ月間以上）、研修医に必須な軽症から最重症までの幅広い救急症例を研修する。

### ①院内研修

- 1) 日本救急医学会救急専門医の指導の下、救命救急研修  
救急車やヘリコプターで搬入される心肺停止、多発外傷、熱傷、呼吸不全、ショック、中毒、心筋梗塞などの重症救急患者への初期対応、また、EICUにおける人工呼吸、血液浄化法、水電解質管理、栄養管理など重症救急患者管理を研修する。
- 2) 救急外来当番医指導の下、初期対応研修  
2年間の研修期間を通して救急外来を受診する患者を該当診療科の指導医と共に診療する。

### ②院外研修

協力型病院で、日本救急医学会救急専門医また他科専門医とともに数多くの1次、2次救急患者へのER対応を研修する。

### ③ICLS

オリエンテーションにてICLSコースを受講する。





### 一般目標

- 1) 診療科を問わず、致命的患者の救命救急処置、救急外来を受診する頻度の高い疾患の診断と初期治療を学ぶ。
- 2) 院内各科医師、コメディカル、さらに、救急救命士とのチーム医療、他病院間のコミュニケーションについて学ぶ。

本期間の研修は、救急患者の全身状態を的確に評価し、即応性のある基本的医療技術と臨床各科に跨る幅広い医療知識を修得することを目的とする。これは、将来、どの専門領域に進もうとも臨床として必要なことである。

### 行動目標

- 救急専門医とともに、救急外来（ER）、EICU で軽症から重症の幅広い救急患者の初期対応、救命救急処置を積極的に行う。
- 研修医は救急患者への標準的初期対応、重症患者管理を習得し、応用できることを心がける。
- 朝、夕の症例カンファレンス、週に一度の抄読会などに参加して指導医からの評価を受ける。
- 希望する場合は、救急車同乗、ヘリコプター実習を行い救急患者の搬送、救急処置を習得する。

2年目に1ヶ月間以上の院外の協力型臨床研修病院・施設で研修する。

### 一般目標

地域医療を必要とする患者とその家族に対して、全人的に対応するために、

- 1) 患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療（在宅医療を含む）について理解し、実践する。
- 2) 診療所の役割（病診連携への理解を含む。）について理解し、実践する。
- 3) へき地・離島医療について理解し、実践する。

### 行動目標

- 地域医療の現場で医師の役割を理解し、実践できる。
- 地域に密着した医療機関で、患者-医師関係、患者、家族のニーズを身体、心理、社会的側面から把握できる。
- 他の医療機関との連携について理解し、病診連携について理解、実践できる。
- 地域医療の現場でプライマリケアを理解し実践できる。



## C 地域医療



下記より、2科以上を選択し、3ヶ月間研修する。選択必修研修は岡山大学病院で行う。

### 外科系

(消化管外科、肝・胆・膵外科、呼吸器外科、  
乳腺内分泌外科、心臓血管外科、小児外科、  
脳神経外科、整形外科、泌尿器科、形成外科、  
眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

### 麻酔科

### 産科婦人科

### 小児科

### 精神科



## D 選択 必修研修

## 〈選択科研修〉

総合内科、消化器内科、血液腫瘍呼吸器アレルギー内科、腎免疫内分泌代謝内科、循環器内科、神経内科、  
消化管外科、肝・胆・膵外科、小児外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、脳神経外科、  
整形外科、泌尿器科、形成外科、救急科、麻酔科蘇生科、放射線科、精神科神経科、産科婦人科、小児科、  
小児神経科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、病理診断科/病理部：合計 11 ヶ月  
9頁の協力型病院で行うことも可能である。



# 研修プログラム紹介 [地域医療]

## 地域医療研修

2年目に1～3ヶ月間院外の協力型臨床研修病院・施設で研修します。  
 地域医療研修の研修先については本人の希望と適性を踏まえて1年目秋頃に協力型研修病院・施設より決定します。



安田内科医院



倉敷記念病院



岡山記念病院



水島中央病院



笠岡第一病院



渡辺胃腸外科病院



因島総合病院



新見中央病院

### 研修医メッセージ

平成27年度先進プログラム

明賀 翔平 先生  
 (渡辺病院)

私は、地域医療研修で、新見市にある「渡辺病院」を選択しました。今回の実習で感じたのは、メディカルスタッフとの連携の大切さでした。

病気になる前はADLが自立していたような患者さんでも、病気や入院を契機に介護などが必要になることはよくあります。このとき、退院後の生活にむけて環境を調整することがとても大事です。介護申請や介護サービスの利用をどうするか、リハビリでどのくらいADLの改善が期待できるか、食事形態や栄養量の変更は必要か、内服薬の管理はどうするか、本人・家族の病気に対する理解度はどのくらいか、などなど。考えなければいけないことは多岐にわたり、とても医師一人

ではカバーできません。ですから、メディカルスタッフの方々と連携して動く必要がありますが、渡辺病院ではスタッフ全員と顔見知りで、非常に話やすく連携がとりやすかったです。2ヶ月と短い研修期間でしたが、最後には寄せ書きやプレゼントもいただき、本当によかったです。

大病院で研修していると、患者さんに地域の病院へ転院してもらうことも多いですが、今回転院したその後がどうなっているかを体験できたことはとても勉強になりました。



### 研修医メッセージ

平成27年度先進プログラム

池田 愛璃 先生  
 (中島病院)

私は3ヶ月間、中島病院で地域研修をさせていただきました。私は消化器内科志望ということもあり、内視鏡の症例数が多い中島病院を選択しました。1日の業務は、午前中に内視鏡検査、超音波検査、透視検査などの外来検査に入り、午後は病棟業務を行いました。内視鏡に関して、最初はなかなか思うようにはいかず苦戦することもありましたが、周囲の方々の協力もあり最後には上達することができたと思います。検診では早期胃癌を見つけ、早期治療に繋がった症例も経験しとても嬉しかったです。また、透視検査は大学病院では殆ど見る機会がないため、実際に透視操作を経験しとても貴重な経験となりました。

消化器しか診療できないのかと思われるかもしれませんが、病棟では糖尿病などの代謝疾患や、血液疾患、心疾患、神経疾患など様々な症例を私は経験しました。大学病院を中心とした研修をしていた私にとって、幅広い経験ができてとても有意義でした。また、地域の勉強会などで症例報告を行い、症例を振り返る機会もあり大変勉強になりました。

した。

中島病院の研修では他職種の業務内容を経験できることも魅力的でした。研修中に、ソーシャルワーカーの業務を見学したり、作業療法士の体験をしたり、病院食を作ってみたりと、大規模病院であればあまり関わることのない職種の方々と関われるのも魅力の一つだと思いました。

地域医療を1ヶ月間選択する先生が多く、最初は3ヶ月間選択することに不安がありましたが、後で振り返ってみると3ヶ月間選択して本当に良かったと思います。どの先生も熱心に教育してくださり、また医療従事者の方々も親身に相談にのってくださり大変感謝しています。人数が少ないからこそ、研修医が経験できることも多く大変でしたが、とても楽しかったです。本当に良い研修をさせていただきました。ありがとうございました。

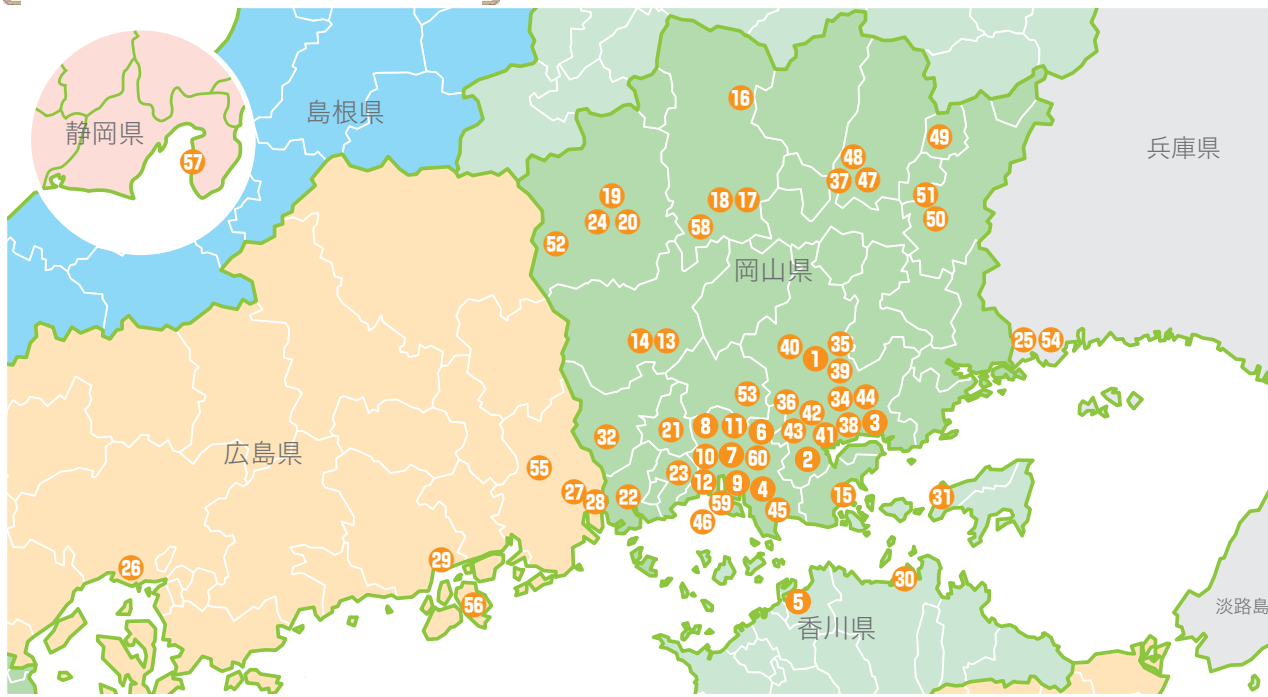




## 地域医療受入病院・施設

それぞれの病院・施設の特長を生かした研修が可能です。研修先として魅力ある病院・施設がそろっています。

- 先進プログラム
- 産科婦人科特別プログラム
- 小児科特別プログラム



病 院	
1 光生病院	先
2 岡山労災病院	産小
3 岡村一心堂病院	先
4 水島中央病院	先
5 坂出市立病院	小
6 倉敷リハビリテーション病院	先
7 しげい病院	先
8 倉敷記念病院	先
9 倉敷スイートホスピタル	先
10 玉島中央病院	先
11 倉敷第一病院	先
12 渡辺胃腸科外科病院	先
13 高梁中央病院	先
14 成羽病院	先
15 玉野市立玉野市民病院	先小

16 湯原温泉病院	先
17 金田病院	先
18 落合病院	産
19 長谷川記念病院	先
20 渡辺病院	先
21 矢掛町国民健康保険病院	先
22 笠岡第一病院	小
23 金光病院	先
24 新見中央病院	先小
25 赤穂中央病院	先
26 広島逓信病院	小
27 福山市民病院	小
28 日本鋼管福山病院	小
29 興生総合病院	産小
30 屋島総合病院	産
31 小豆島中央病院	先

32 井原市立井原市民病院	先
33 岡山記念病院	先
34 旭川荘療育・医療センター	小
35 佐藤医院	先
36 美作市立大原病院	先小
37 安田内科医院	先
38 岡山市保健所	先小産
39 岡山県赤十字血液センター	先小産
40 青木内科小児科医院	先
41 かとう内科並木通り診療所	先
42 重井医学研究所附属病院	先
43 岡山西大寺病院	先
44 倉敷市立市民病院	先
45 水島第一病院	先

施 設	
46 中島病院	先
47 津山ファミリークリニック	先
48 奈義ファミリークリニック	先
49 湯郷ファミリークリニック	先
50 田尻病院	先
51 哲西町診療所	先
52 藤井クリニック	先
53 赤穂はくほう会病院	先
54 寺岡記念病院	先
55 因島総合病院	先
56 西伊豆健育会病院	先
57 勝山病院	先
58 玉島第一病院	先
59 南岡山医療センター	小

## 研修医メッセージ

### 平成27年度先進プログラム

中野 靖浩 先生  
(佐藤医院)

2年間の初期研修の中で地域医療研修は特別な意味を持っています。急性期の大規模な病院で働くことが多い研修医にとって、急性期を乗り越えた後の患者さんの状態を診る初めての機会になります。

僕が研修させていただいた佐藤医院は、岡山大学病院から徒歩10分の距離にある診療所です。外来だけでなくデイケアやデイサービスセンターが併設され、禁煙外来や訪問診療にも力を入れています。研修中は、自分が主で定期外来をさせていただき、往診に行くこともありました。患者さんの中には、重度の心不全や腎不全の方がいて、専門病院と連携をして診療していたり、入院でも診るような肺炎や蜂窩織炎、尿路感染症の方を在宅で治療していたりしています。リハビリも

積極的にを行い、高齢者が自宅で最期まで生きることを目標に、熱心に診療されていました。1ヶ月という研修の間で在宅医療の幅広さを感じることができました。

超高齢社会がさらに進む中、急性期の医療だけでは真に患者さんのQOLを高めることはできません。多職種と連携し、福祉や介護にも精通する必要があります。ぜひ、地域医療研修も全力で取り組み多くのことを得てください。必ずやあなたの医療の深みを増してくれるはずですよ！





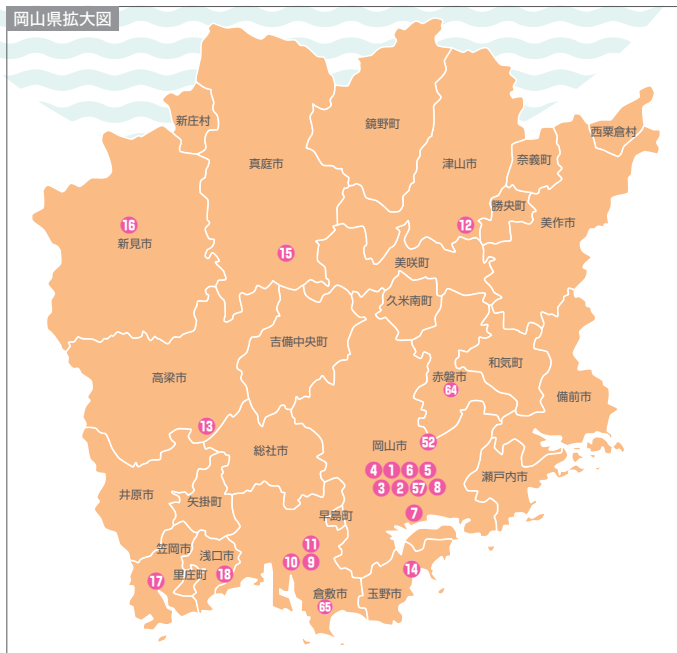
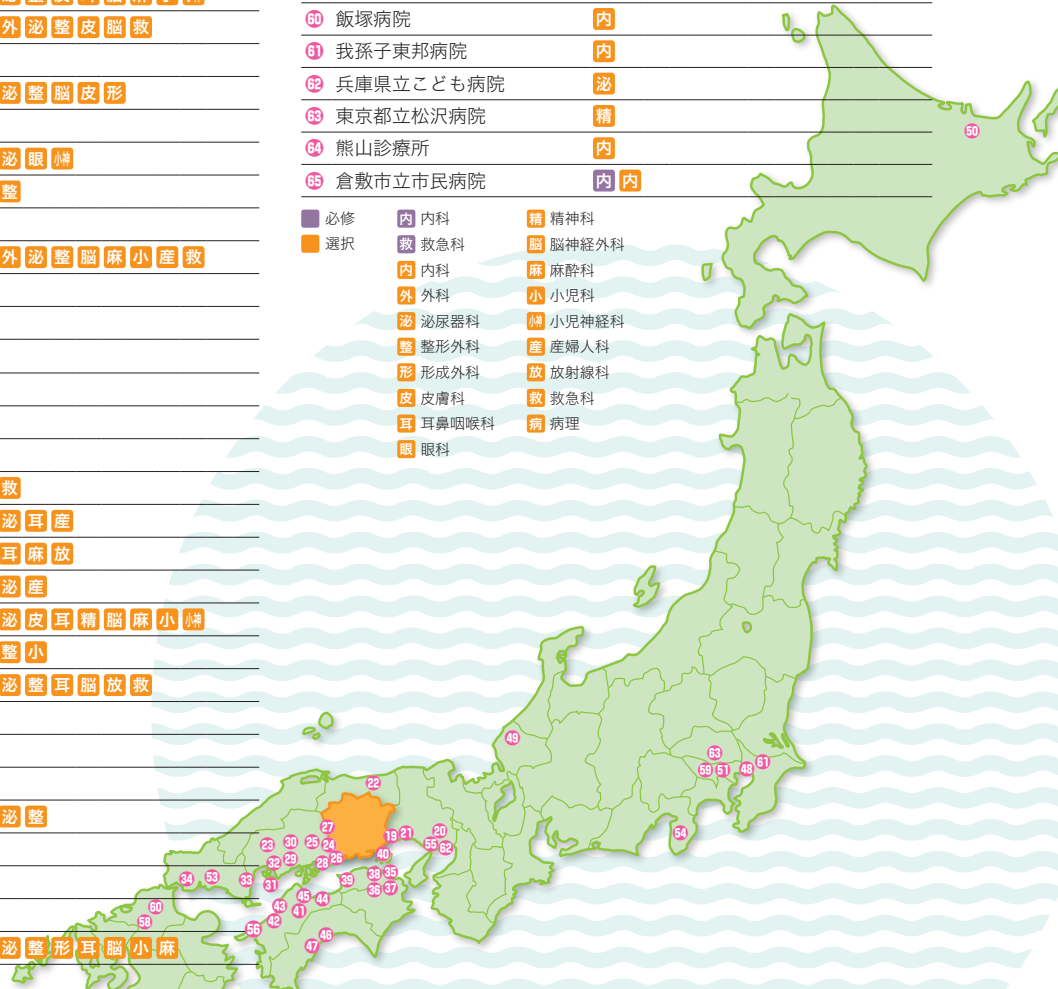
# 研修プログラム紹介 [協力病院・施設紹介]

※協力型施設での研修は2年間のうち3ヶ月以内

病 院	
1 岡山済生会総合病院	内 救 内 外 整 形 皮 眼 放 小 救
2 岡山赤十字病院	内 内 外 泌 整 皮 耳 精 腦 小 放
3 光生病院	内
4 岡山医療センター	内 内 外 泌 整 皮 耳 腦 麻 小 精
5 岡山市立市民病院	内 救 内 外 泌 整 皮 腦 救
6 岡山県精神科医療センター	精
7 岡山労災病院	内 内 外 泌 整 腦 皮 形
8 岡山旭東病院	内 腦
9 倉敷成人病センター	内 内 外 泌 眼 精
10 水島中央病院	内 内 外 整
11 倉敷中央病院	救
12 津山中央病院	内 救 内 外 泌 整 腦 麻 小 産 救
13 高梁中央病院	内
14 玉野市立玉野市民病院	内 内
15 金田病院	内
16 渡辺病院	救
17 笠岡第一病院	内
18 金光病院	内
19 赤穂中央病院	内 内 外 救
20 姫路聖マリア病院	内 内 外 泌 耳 産
21 姫路赤十字病院	内 内 外 耳 麻 放
22 鳥取市立病院	内 内 外 泌 産
23 広島市立広島市民病院	内 内 外 泌 皮 耳 精 腦 麻 小 精
24 福山医療センター	内 内 外 整 小
25 福山市民病院	内 内 外 泌 整 耳 腦 放 救
26 日本鋼管福山病院	整
27 中国中央病院	内 内 産
28 脳神経センター大田記念病院	内
29 尾道市立市民病院	内 内 外 泌 整
30 尾道総合病院	病
31 呉共済病院	内 整 麻
32 三原赤十字病院	内
33 岩国医療センター	内 内 外 泌 整 形 耳 腦 小 麻
34 山口宇部医療センター	内
35 香川県立中央病院	内 内 外 泌 整 形 耳 腦 麻 小 産 放 救
36 KKR 高松病院	内 内
37 高松赤十字病院	内 内 皮
38 香川労災病院	内 内 外 整 耳 腦
39 三豊総合病院	内 内 外 泌 皮 麻 産
40 小豆島中央病院	内
41 松山赤十字病院	小 精
42 愛媛県立中央病院	内
43 松山市民病院	内 内 外
44 住友別子病院	内 耳
45 済生会今治病院	内 内 外
46 高知医療センター	内 内 外 泌 整 耳 麻 小
47 近森病院	内 内 外 整
48 東京ベイ・浦安市川医療センター	内 救
49 福井大学医学部附属病院	内 救
50 小清水赤十字病院	救
51 練馬光が丘病院	内
52 旭川荘療育・医療センター	精
53 阿知須共立病院	内 内
54 西伊豆健育会病院	整
55 神戸赤十字病院	内 内 整 麻

施 設	
56 四国がんセンター	内 耳
57 岡山県精神保健福祉センター	精
58 聖マリア病院	救 救
59 東京北医療センター	内 内
60 飯塚病院	内
61 我孫子東邦病院	内
62 兵庫県立こども病院	泌
63 東京都立松沢病院	精
64 熊山診療所	内
65 倉敷市立市民病院	内 内

- 必修
- 選択
- 内 内科
- 救 救急科
- 内 内科
- 外 外科
- 泌 泌尿器科
- 整 整形外科
- 形 形成外科
- 皮 皮膚科
- 耳 耳鼻咽喉科
- 眼 眼科
- 精 精神科
- 腦 脳神経外科
- 麻 麻酔科
- 小 小児科
- 精 小児神経科
- 産 産婦人科
- 放 放射線科
- 救 救急科
- 病 病理



研修プログラム紹介「協力病院・施設紹介」

# 研修プログラム紹介 [ローテーション決定方法]

## ローテーションの決定方法

マッチング後に採用予定者より希望を取り、決定します。12月頃（各大学の卒業試験終了後）に、卒後臨床研修センターより進路調査を行い、相談指導医の決定、救急研修先など大まかな希望を聞きます。

国家試験終了後に具体的な研修科・研修施設などのローテーション調査を行います。2月又は3月にはローテーション相談会も行います。

ローテーションは、研修医の希望により決定しますが、希望が重複する場合は卒後臨床研修センターにおいて調整します。2年目の研修先については研修1年目の秋頃までに相談指導医・卒後臨床研修センターと相談し、最終決定します。



卒研センター医師と相談しながらローテーションを決定

### 初期卒後臨床研修医 1年目ローテーション表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
病理志望	乳線外科	精神科		内科(倉敷成人病センター)	救急(岡山市民)			救急	内科(水島中央)			
循環器内科志望	循環器内科		腎免疫内分泌代謝内科		救急(津山中央)			神経内科		総合内科		精神科
心臓血管外科志望	心臓血管外科		救急(岡山市民)		麻酔			内科(岡山市民)				循環器内科
形成外科志望	形成外科		耳鼻咽喉科		救急(岡山市民)		救急	内科(岡山市民)				
麻酔科志望	麻酔	内科(岡山市民)						救急(岡山市民)		救急	精神科	麻酔
皮膚科志望	腎免疫内分泌代謝内科	皮膚		救急(岡山市民)		消化器内科		救急	病理	精神科		内科(済生会)
産婦人科志望	腎免疫内分泌代謝内科	乳線外科			産婦人科			麻酔			精神科	放射線科
耳鼻科志望	耳鼻咽喉科		精神科	麻酔				救急(津山中央)			内科(済生会)	
外科志望	消化管外科	呼吸器外科		麻酔				救急(津山中央)				肝胆膵外科
神経内科志望	神経内科	循環器内科		腎免疫内分泌代謝内科	救急		外科(岡山市民)	救急(岡山市民)		総合内科		精神科

### 初期卒後臨床研修医 2年目ローテーション表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
病理志望	地域(水島中央)			内科(水島中央)		病理				病理(尾道総合)		
循環器内科志望	放射線科	地域(奈義ファミリークリニック)	循環器内科	麻酔				内科(福山市民)				
心臓血管外科志望	循環器内科	救急	精神科	地域(金田)	外科(済生会今治)							呼吸器外科
形成外科志望	内科(岡山市民)	麻酔		精神科	地域(西大寺)	整形外科		形成外科				
麻酔科志望	麻酔			地域(岡山記念)	麻酔							
皮膚科志望	内科(岡山済生会)	麻酔		皮膚	地域(倉敷スイート)	内科(岡山市民)		内科・形成外科(岡山済生会)				
産婦人科志望	救急(岡山市民)	救急	地域(矢部町国保)	内科(練馬光が丘)			内科(岡山労災)					
耳鼻科志望	内科(岡山労災)					地域(水島中央)	病理	小児	耳鼻咽喉科			
外科志望	病理	精神科	地域(渡辺胃腸科外科)	内科・外科・小児科(広島市民)								
神経内科志望	地域(皆西町診療所)	麻酔		内科(岡山市民)		血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科	神経内科	内科(練馬光が丘)				放射線科



院内での  
研修の様子

**★ 卒研センター 専属スタッフ ★**

ご相談ください

年2回の卒研専属医師による面談の他、卒研センターには専属スタッフが常駐しています。きめ細かなサポートを行っています。



# 研修医メッセージ

## 初期研修先は岡大病院で決まり！

平成28年度先進プログラム 内藤 修子 先生

もともと岡山大学地域枠出身の私は、県内限定で初期研修病院を探していました。正直に言うと、初めは市中病院で研修することを考えていましたが、見学するうちにどの病院もメリットとデメリットがあり、頭を悩ませてしまいました。結果として、ベストな選択だと行き着いた先が岡山大学病院です。

岡山大学病院は、ご存じの通り、数多くの関連病院がある「たすき掛け」制度を含めて、研修プログラムを自分で組み立てることができる、日本全国探してもなかなかない病院だと思います。先生方も熱心に相談に乗ってくださるとても心強いです。

実際に研修し始めて、最もたすき掛けのよさを実感したのは、救急科の研修です。大学病院では3次救急がメインなので、3度熱傷や重症な外傷、敗血症患者などを集中的に診ることができますが、上気道炎などのいわゆるコモンな症例はどうしても経験が少なくなってしまう。しかし市中病院とたすき掛けにすることによって、その点をしっかりと補うことができたいと思います。軽症例から重症例まで3ヶ月間しっかり勉強できて、本当によかったです。

同期の人数が多いことや、様々な勉強会の機会があること、熱心で知識豊富な指導医の先生方が多いことも、モチベーションを保つ上で恵まれている点だと思います。

研修先で悩んでいる方、そろそろ岡山大学病院の魅力に気づいてきた頃ではないでしょうか？ぜひ私たちと一緒に医師としてのスタートを切りましょう！一緒に働けるのを、心よりお待ちしております！



## 研修医メッセージ 外科

平成27年度先進プログラム 川名 伸一 先生

私は6ヶ月近くを呼吸器外科で研修させていただきました。岡山大学病院の外科は学生教育にも定評があり、同様に研修医教育も非常に充実していました。

手術は6ヶ月間の期間で約50例を経験しました。肺癌だけでなく、縦隔腫瘍や気胸、膿胸、胸部外傷の手術も経験できました。また、岡山大学病院の特徴である肺移植術にも助手として参加することができました。3ヶ月目からは執刀もさせていただけるようになり、研修期間中に計7例の執刀症例（肺部分切除術）を経験しました。

病棟では気胸や胸水のドレナージなどの研修医として必要な手技も経験できました。これらの手技がある場合は、他チームの症例であっても声をかけていただき、丁寧な指導のもとで安全に施行できました。

カンファレンスでのプレゼンテーションは主に学生が行いますが、

研修医はその指導を任せられることもあります。教わるだけでなく教えることで自分の理解が不十分な点を確認することができました。学生指導も大学病院の研修ならではの貴重な経験となりました。

学会発表も手厚く指導していただき、症例発表を2つ行うことができました。論文作成も現在指導していただいているところです。症例発表や論文作成は、経験した症例をより深く再検討することでもあり、これらもまた貴重な経験でした。

また、仕事だけではなく診療チーム全員での旅行やスポーツ対抗戦（野球、テニス）、忘年会などの行事にもよく参加させていただきました。先生方との交流の機会も多く、その中で後期研修先や、その後のキャリアプランなどの相談も気軽にすることができました。

外科での研修は手術の経験だけではなく、その他の面も非常に充実した良い研修でした。



## 小児科医を目指して

平成26年度小児科特別プログラム 二川 奈都子 先生

私は元々、医学部に入学当初から将来小児科を専門とすることを考えていました。そのため、母校である岡山大学病院に小児科特別プログラムがあることを知り、通常の研修より1年早く小児科研修を始められる、小児科として岡大関連病院にて2年目から3年目にかけて研修が出来るなどのプログラムの内容に魅かれて小児科特別プログラムを選びました。1年目は内科や救急科など他の科を回りつつ、小児科を

2カ月必須で回ることになり、市中病院に出る前に大学病院の雰囲気やなかなか市中病院では経験することが出来ない症例を経験することが出来ます。

小児科特別プログラムと目して1年目は他の研修医とあまり変わりません。大学病院の特徴の1つとして同期が多いことがあります。30人以上の同期と共に研修出来、とても楽しく研修を送ることが出来ています。Weekend Lecture やシミュレーターなど勉強や手技の練習の場も充実しており環境も整っています。

将来、小児科を目指している方や小児科に興味がある方はぜひ見学にいらしてみてください。一緒に小児科を目指して頑張りましょう。



## たすき掛け研修の魅力

平成27年度先進プログラム 杉原 真由 先生

「たすき掛け」というのは非常に魅力的なシステムですが、同時にとても難しいなと感じています。出向先の病院の研修医は病院にも慣れ、病院スタッフとも顔見知りの状態ですが、こちらは何も知らないまま初日から業務開始です。しかし医師というのはもともと転勤の多い職業であり、むしろ必死に仕事に慣れようという努力は将来的には無駄ではなかったなと感じています。

慣れることさえできれば、病院ごとに「おいしいとこどり」できるたすき掛けのメリットは大きいです。大学病院ではあまり見られない疾患にも触れることができますし、患者さんの年齢層が高いため、高齢者の医療、とくに理学療法分野は大変勉強になります。ま

た病院ごとに有名な診療科があるかと思いますが、そこを狙って選択することも可能です。

私自身、大学・市中病院両方で内科と救急科をローテーションしましたが、どちらかだけではなく両方まわって本当によかったと感じています。それぞれに特徴があり、必要な知識も得られる手技も微妙に異なっています。とくに手技は、種類の違うデバイスを使うことになるので確実に上達します。「研修医のうちにいろいろな疾患に触れたいからコモンが集まる市中病院に」という意見を良く耳にしますが、そういった人にこそお勧めしたいシステムです。

色々言いましたが、やる気さえあればどこで研修しても長期的な結果は変わらないというのが私の持論ですので、正直な所一番嬉しかったのは他の病院の研修医と友人になり、たくさん刺激をうけたことかもしれません。10年後くらいに一緒に働くことになるのかな？と楽しみにしています。



## 産婦人科プログラムでの初期研修について

平成26年度産科婦人科特別プログラム 楠元 理恵 先生

私は産婦人科プログラムでの初期研修を選択しましたが、産婦人科プログラムでの研修の利点は、まずなんといっても大学におられる産婦人科の先生方から、これ以上ないほどサポートを受けられるということだと思います。産婦人科プログラムは、将来産婦人科医になりたい研修医がとるプログラムですので、産婦人科におられる先生方は最初から仲間として受け入れてくれますし、いろんな技術や情報を教えてください。たとえば、岡山大学には「たすきがけ」というシステムがありますが、初期研修先としてどの病院がいい研修ができるかなどいろいろ先生方が率直な意見を言ってくれます。産婦人科で行きたい病院が決まっている場合は、そこで研修できるように最大限交渉していただけます。そういったサポートを受けられるのはやはり産婦人科コースの強みだと思います。また大学の研修全般に言えることですが、市中病院ではお目にかかれないような難しい症例を直にみることができます。例えば産科的DICの完成した症例や、穿通胎盤の帝王切開術

などは大学以外ではなかなか経験できない症例だと思います。そういった稀ではあるけれど経験しておくべき症例を早いうちからみることができると、医師としてとても大切なことだと思います。

もちろん欠点もあります。産婦人科プログラムですので、コース終了後に診療科を変えるのはかなり難しいと思います。また大学での研修全般に言えることですが、症例が難しいため研修医が自分で手を動かして診察するということがなかなかできません。手技を身につけるという点では、市中病院に比べると機会が少ないかなと思います。ただ、今は地域医療以外で最大15ヶ月は市中病院で研修することができるので、そこで手を動かしていろんな手技を身につけることはできると思いますし、やり方次第では十分補っていけると思います。

総合的に考えて、私は産婦人科プログラムで研修してとてもよかったなと思っています。自分が初期研修の2年間でできるようになると思ったことはほとんどできるようになりましたし、これから後期研修で何を研修していくべきかも段々と見えてくるようになりました。なにより大学の産婦人科の先生方ともとても仲良くなれただけではなく、たすきがけで研修した先の先生方とも仲良くなれたことがとても良かったです。将来産婦人科を考えている学生さん、岡山大学産婦人科に興味をもたれた方に、是非おすすめしたいプログラムだと思います。



## 第2回瀬戸内レジデントレポート

Resident Report

平成27年度先進プログラム 西村 義人 先生

2016年11月12日、岡山大学病院 MUSCAT にて、第2回瀬戸内レジデントを開催しました。この企画はタイトル通り、「研修医が企画運営を行い、研修医が求める理想的なセミナーを開催する」ことを目的として当院研修医が中心となって2015年に立ち上げられたものです。今年度は外部講師として聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センターの北野夕佳先生、麻生飯塚病院 総合診療科の吉野俊平先生と御高名な御二方をお呼びしつつ、様々なワークショップ、レクチャーを展開しました。ワークショップはハンズオン形式で明日からの診療にすぐに役立つものとし、ショックのアセスメントとして行う RUSH Exam、ベンチレーターを実際に用いて人工呼吸管理を学ぶもの、創傷処置のセッションと三本立て。レクチャーは海外留学志望者の悩みを共有し議論するもの、生理学から血液ガス分析を突き詰めるもの、せん妄のマネジメントを基礎から実践まで学ぶものと、参加者のニーズに合わせ

たセッションを用意しました。

さらに、外部講師の御二方に加えて当院から片岡仁美先生にも御参加いただき、若手医師が普段抱える悩みや疑問を先生方とディスカッションする座談会や、優秀者には講師の先生方のサイン入り著書を贈呈するクイズ大会、そして懇親会まで、盛りだくさんの企画となりました。

参加者は総勢50名！兵庫県から高知県まで様々な病院から参加していただき、中四国中心に若手が集う場として非常に有益だったと思います。今回のイベントを皮切りに、中四国若手医師フェデレーションというネットワークも始動しましたので、是非検索・加入を！







## 進化する岡大プログラム —その主役は皆さんです

卒後臨床研修センターの片岡です。  
平成21年7月より卒後臨床研修センター専任、研修副部門長として、現在研修中の研修医の先生に対するより良い研修の提供と、今後の研修の望ましいプログラム作りを注いでいます。

医師は一生学び続け、研鑽を積み重ねなければなりません。医師になったばかりの時期は、成長曲線のカーブが大きく上昇する時期です。そのため、初期研修は非常に重要であることは異論のないところです。同時に、初期研修はそれだけで独立した時期ではなく、学部教育から生涯教育へと移行する連続した医師としての成長の1期間としても重要です。

私が岡山大学で医師として育つなかで、「患者さんのために献身すること。生涯学び続けること。後輩を育てること」という医師としてのスタイルを自然に身につけてきましたが、まさにこれは「岡大スタイルである」ことが今になってわかってきました。このような、「自然に身に付く医師としての姿勢」ということがいかに重要かは研修の渦中にいるときにはなかなか見えてきませんが、医師としてのプロフェッショナリズムのあり方を先輩医師の生き方から学び、身に付けることは大きな財産です。私は、目に見える到達点以上に、このような目に見えない部分での学びは大きな意味をもつことを実感しています。そして、これこそが医師臨床研修の目的である「医師としての人格の涵養」だと思っています。

あなたも岡山大学病院で医師としてのスタートをきってみませんか？



卒後臨床研修センター  
医科研修副部門長  
片岡 仁美

## 研修医一人一人に合わせたプログラム “絆”を作る数十年後を見据えた研修を

岡山大学病院での研修のメリットは“プロフェッショナルの集団が身近にいる”ということです。中四国を中心とした全国有数の協力型研修病院と提携し、“common diseaseの研修”も可能となりました。

今後、数十年の医師人生の中で、楽しい時や苦しい時に一緒にいてくれる同期研修医やロールモデルもたくさんいます。治療に困った時に相談できる先輩や人生について相談できるチューターとの出会いもあります。多くの人と出会い、多くの“絆”を結んでください。

岡山大学病院は病院をあげて、研修医の教育に力を注いでいます。そして、我々も若い力に期待するとともに、一緒に成長していきたいと考えています。

明日の医療を担っていくのはあなた方です。ぜひ私たちとともに一緒に頑張ってください。



卒後臨床研修センター  
医科研修副部門長  
三好 智子

## 皆さんのビジョンの実現に向けて 伴走いたします！

私は当センターに2010年に着任しましたが、研修医の皆さんが「初々しく緊張した顔」で入職し、2年後には「凛々しく自信に満ちた顔」で巣立っていく様子に、いつも感動しております。研修医の皆さんをサポートできることは、我々にとって喜びです。私たちは、研修医の皆さんそれぞれ

そのビジョンを大切にしたいと考えています。当院プログラムの特長である「多様性」を活かして、皆さんのビジョンの実現に向けて、きめ細かくサポートいたします。ある時は皆さんをリードして励まし、ある時は横でそっと見守り、ある時は後ろで支え勇気づける…医師として走り出した皆さんの、良き伴走者でありたいと思っています。皆さんと2年間、一緒に走ることを楽しみにしています。



卒後臨床研修センター  
医科研修副部門長  
小比賀 美香子

## 岡山大学病院研修プログラムにご興味を持って頂いた皆様へ！

はじめまして、岡山大学病院・卒後臨床研修センターの小川と申します。

当院の研修プログラムにご興味を持って頂き有難うございます。

研修期間中、楽しいこと、つらいこと、いろんなことがあると思います。皆さんが医療人としてスタートし、先輩、仲間、いろんな人に出会い、いろんな縁の中で、自分のペースで歩んで行かれることをサポートしたいと思っています。どうぞ、お気軽に岡山大学病院へ見学にいらしてくださいね。お待ちしております。



卒後臨床研修センター  
医科研修副部門長  
小川 弘子

# ARTプログラム

全国の大学病院に先駆けて 2009 年 4 月に始動した  
「卒後研修と博士号取得を効率よく両立させる」大学院プログラムについて  
ご紹介します。

## ARTプログラムとは

卒後臨床研修1年目から大学院に入学することで、Physician-Scientistを育て、リサーチマインドを有した医師を育てる教育体制です。岡山大学病院プログラム（先進、産婦人科、小児科）および岡山市立市民病院プログラムの研修医はARTプログラムを選択することが可能です。

また、岡山大学病院プログラムの研修医でたすき掛けにより他院で研修する場合も本人の希望を踏まえ、卒研センターを通じて研修先病院の許可も頂きます。



キャリアコンサルタント  
早瀬 佳子

選択に迷った時、悩みが生じた時、いつでもご相談ください。



	出願期間	試験日(面接日)
ARTプログラム特別入試	6月頃	7月第2土曜日(予定)
大学院第1回一般入試	7月頃	8月頃
大学院第2回一般入試	12月頃	1月頃
ARTプログラム奨学生面接	3月頃 (大学院入学手続き時)	4月第2土曜日(予定)

## ARTプログラムの特徴

### 1 「いつか研究してみたい・いつか留学してみたい」あなたへ。

いつか研究をしてみたい。いつか留学もしてみたい。そんな希望を持つ方は多いけれど、「いつか」はいつが最適なのでしょうか？岡山大学のARTプログラムは、あなたの「いつかは…」を後押しするプログラムです。研修医にとって臨床研修は最もプライオリティが高いもの。しかし、臨床研修をフルに行いながらもアカデミックキャリアの一步を踏み出すことは可能です。夕方18時30分からの1時間半、土曜日の一時を活用して大学院の授業を受けることは、むしろ臨床への新鮮なフィードバックになることもあります。

### 2 「本気で研究をしたい」あなたへ。

岡山大学で科目等履修により、大学院授業の先取りをしている方、学生時代より研究を続けている方については、研究と臨床の両立を行うことが課題になるでしょう。臨床研修をフルに行いながら研究を行うことは平易ではないかもしれませんが、「臨床も研究も頑張っている」同級生や、頼もしいART修了生、ART推進室など縦のつながり、横のつながりがあります。モチベーションの高い仲間と切磋琢磨しあえることは何よりの励みとなり支えとなります。

### 3 「大学院に進みたいけど授業料が負担」と思うあなたへ。

ARTプログラムは卒後研修開始時から1年間、貸与型ARTプログラム奨学金制度が整備されています。安心して大学院に進むことが可能です。

### 4 「大学院に入りたいが分野を決めかねる」あなたへ。

ARTプログラムでは、1年間は研究分野を固定せずに大学院に在籍することが可能です。この場合、ART推進室がサポートを行い、1年後には研究分野を決定します。

## 研修医メッセージ

### 平成27年度先進プログラム

杉原 悟 先生



私はH27年4月よりARTプログラムにて大学院に入学し、岡山大学病院で卒後臨床研修を行いながら岡山大学大学院皮膚科学にて研究を行っています。研修と平行して実験を行うのはとても時間的に難しい時がありますが、業務終了後に時間を作って研究、論文執筆をしています。先日も仙台で研究のポスター発表を行うなど、学会にも積極的に参加しています。ARTプログラムの利点としてはやはり博士号を得るまでの時間が大幅に短縮されることにあります。私は再入学しているため、現役で医師となった人たちよりも5年遅れています。その遅れを1年でも取り返そうと思い、ARTプログラムを選択しました。他の大学院生のように、一日中実験に没頭出来る時間は無いため、研究の進捗は遅くなってしまっていますが、早くから動くことでその遅れを取り返すことができそうです。また、学生時代からPre-ARTを受講していたことで、授業に出席する時間も研究に当てられました。今後大学院に行くことを少しでも考えている学生さんにはぜひPre-ARTから開始することをお勧めします。時間的なアドバンテージが非常に大きくなるため、ARTプログラムを是非活用すべきだと思います。

### 平成27年度先進プログラム

畑山 一貴 先生



僕は大学6年の時からPre-ARTを選択し、一年間で夕方からの講義をとり終わりました。働きながら授業に出るのはとても大変ですので、これは岡山大学出身者には非常に大きなメリットになるのではないかと思います。6年生の時には小児科に進むことを決めていましたので、小児科の先生に相談し、同科で研究をさせて頂くことになりました。

何科で研究させてもらって、どの先生に教えて頂くかがしっかり決まった状態で、初めて研究をスタートすることができます。個人的には、自分の希望する科で何を研究させて頂けるのか、その体制は整っているのかしっかり見極めたいのでART選択が重要かと思えます。

研究と研修の両立が本当に可能なのか、メリットは具体的にどんなのかなど疑問は沢山あるかと思えます。僕は幸いにも素晴らしい環境で4月から積極的に研究に取り組ませて頂いたため、いくつかの学会や論文作成など進めることが出来ますが、研究の面白さの反面、大変さ、時間との戦いを日々痛感しています。

お問い合わせ 岡山大学医学部 ARTプログラム推進室 <http://art-med.jp/>

TEL.086-235-6540 E-mail:info@art-med.jp 〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 (記念会館2F)





# 研修医教育指導体制



## 岡山大学病院ならではの、 各種セミナー・ワークショップなど、 充実した学習機会ですさらにステップアップ！

岡山大学病院卒後臨床研修センターでは、基本的医学知識・手技を習得し、さらには様々な分野の知識を広げて深めていけるよう、当院ならではの各種セミナー・ワークショップを企画しています。さらに、各診療科においても研修医向けの教育カンファレンス、症例検討会が多数開催されています。当院にはシミュレーションセンターも完備されており、シミュレータを利用したセミナーも数多く開催されています。さらには海外研修の機会もあり、研修医の先生にとって大変刺激になっています。

このように本院の初期研修プログラムはその後のキャリアアップにつながる、非常に充実した教育指導体制を有しています。

### オリエンテーション

病院長から辞令交付の後、約1週間かけてオリエンテーションを行います。研修の説明だけでなく、採血や導尿などの手技の練習や電子カルテの操作方法・輸液ポンプの使い方・心電図モニターについてなど実際の研修に即した実践的なもの、新採用看護師とのチームワーク研修など盛りだくさんです。

### ICLS

医療従事者のための蘇生トレーニングコースです。緊急性の高い病態のうち、特に「突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生」を習得することを目標としています。講義室での講義はほとんど行わず、実技実習を中心としたコースです。受講者は少人数のグループに分かれて実際に即したシミュレーション実習を繰り返し、約1日をかけて蘇生のために必要な技術や蘇生現場でのチーム医療を身につけます。コース修了後は日本救急医学会認定の修了証が発行されます。

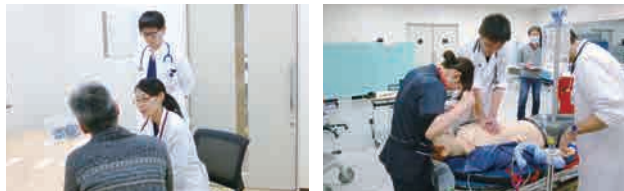
### CPC 症例検討会

研修医自身が何らかの臨床上の関わりを持った症例について、臨床経過を十分に検討して問題点を整理し、それを剖検結果と照らし合わせて総括することにより、症例の病態生理を考え、患者を全人的に診ることを学びます。医療記録としての剖検報告書の作成だけでなく、CPCへの症例提示を通じて問題対応能力を身につけることを目的としています。

[毎月1回開催]

### 研修医 OSCE

岡山県内外の病院の1年目研修医が集まり、1年目の振り返りのために研修医 OSCE を開催しています。他の病院の研修医や指導医と仲良くなり、2年目へのステップアップとして下さい。



2016年2月のOSCEでは杉原真由先生 (CV挿入) でMVPを受賞いたしました。

### 特別セミナー

平成 28 年度開催分	セミナー名	講師	ご所属
第 22 回	ジェネラリスト養成セミナー「臨床研修／実習での勉強方法」	神保 真人 先生	米国ミシガン大学家庭医療講座教授
第 23 回	ジェネラリスト養成セミナー「Dr. Deshpande の身体診察実践ワークショップ」	Dr. Gautam A. Deshpande	聖路加国際病院 / アメリカ大使館 医師
第 24 回	ジェネラリスト養成セミナー「Bed side teaching: Physical assessment」 「Case conference」	Dr. Joel Branch	
第 25 回	ジェネラリスト養成セミナー「岡山初！ Dr 平島のフィジカルクラブ」	平島 修 先生	医療法人徳洲会 奄美ブロック総合診療研修センター センター長

### Weekend lecture

研修医が自ら勉強したい分野の講演を指導医に依頼し開催します。  
[週1回開催]

演題	所属	講師
「外傷患者の見方」	救急科	湯本 哲也 先生
「プレゼンテーションの方法」	呼吸器外科	清水 大 先生
「心電図の読み方」	循環器内科	森田 宏 先生
「人工呼吸器と遊ぼう」	救急科 臨床工学技士	塚原 紘平 先生 湯本 哲也 先生 林 公美子 先生 平山 隆浩 先生
「胸部写真の読み方・内科後期研修に向けて」	岡山赤十字病院 呼吸器内科	原 尚史 先生
「研修医でも使える漢方のいろは～漢方の鉄則と豆知識～」	産婦人科	牧 尉太 先生
「初期研修医のための小児診療入門」	小児科	石田 悠志 先生
「腹痛の診かた」	消化器内科	藤井 佑樹 先生



### ◆Dr. Joel Branch先生特別Lecture: “患者から学ぶ”ことの重要性



平成28年度先進プログラム 喜多村 勇大朗 先生  
私は高知から岡山へ戻り、医師としてのスタートを切りました。プレゼンテーション、問診、身体診察にはまだまだ自信がなく、Branch先生から直接手ほどきを受けてみたいと思いWSに参加しました。まず英語で症例(主訴、病歴、身体所見、検査データ、現在の治療経過等)をプレゼンし、ライブ形式で実際に患者さんに問診と身体診察を行い、アセスメントを行いました。幼少期に海外に住んでいたため、英語を話すことに抵抗はなかったものの、症例プレゼンでは医療英語を駆使しながら自分のアセスメントを伝える勉強になり、続く問診では患者さんの症状を詳細に聴取し、身体診察をすることで隠れた病態の検索、一連の症状はひとつの疾患で説明できるのかを吟味しました。Branch先生の診察で新たに気づく身体所見もあり、問診・身体診察の重要性を痛感しました。医学書を読み込むことで知識を蓄積することも勿論大切ですが、最も大事なことは患者さんから多くを学ばせていただくという姿勢だと感じました。医師としてのスタートラインに立ててからまだ日は浅いですが、患者さんひとりひとりの訴えや思いに耳を傾け、この経験を今後の医師人生に活かしていけたらと考えています。

### 海外研修

海外での研修にも参加するチャンスがあります！  
特に将来、留学を考えている人は必見です。

### ◆ハワイシミュレーション研修 平成27年度先進プログラム 松岡 勇斗 先生

「医師になったときから教育者である。」これは本研修の引率をされた万代先生のお言葉です。ハワイ研修の応募を見た時、研修医になって以来、もっぱら臨床研修がメインの日常で自分は教育者としての側面があったのだろうか?と自問自答していました。そして漠然と教育ツールとしてのシミュレーション教育方法を学べるうちに学んでおきたいと思い、応募しました。

参加者は、岡山大学病院各科教育を担当されていたりっちゃん先生や岡山県内の研修医合計13人。研修は全日程をハワイ大学で行い、シミュレーション教育大家のDr. Bergのもとシミュレーション教育の意義・方法論、そして実際にシミュレーション作成を行うトレーニングを3日間積みみました。そこで感じたことは、①研修医でもシミュレーションを作成することは可能だということ。②やはり教育ツールとしてシミュレーション教育は有用であること。③自分の勉強に大いに役立つこと。

1年経った研修医2年目の今、“気道確保”“大量出血”のシミュレーションを作成しています。誰に作れと言われたわけではありませんが、せっかく学んだ能力を使わずに忘れることほどもったいないことはありません。それが今できるのも、あの時ハワイ研修応募の扉を軽い気持ちで叩いたおかげです。

“Be an Educator, as long as you are a doctor.”



### 振り返りミーティング

1年目研修医は2月に集まりそれまでの研修を振り返ります。自分の成長した点、反省点を考え、2年目の研修目標を立てます。



### 研修修了式

2年目の研修修了時には、修了式前に2年間の成果を発表します。



### その他

「救急集中治療のための教育セミナー」(高度救命救急センター)など、各診療科において様々なセミナーが開催されており、研修医の先生による症例発表の機会も豊富です。



最新シミュレーター充実したシミュレーションセンターオープン!



### 医歯薬融合型教育研究棟シミュレーションセンター (MoMoSim)

平成27年にオープンした医歯薬学共同施設の4階に新しいシミュレーションセンターがオープンしました。スキルトレーニングや、高機能シミュレーターでの症例トレーニングが行われています。

### 学会発表

各診療科指導医のもと、国内・海外にて学会発表を行う機会が多数あります。

平成28年度は以下の研修医が受賞しました。



#### 研修医 松尾 逸平

第55回日本肺癌学会中国・四国支部会  
(2016/7/9 広島市)  
「オシメルチニブ投与中に発症したうつ血性心不全の一例」  
■岡山大学病院 血液・腫瘍・呼吸器・アレルギー内科 指導  
□研修医優秀演題賞 受賞



#### 研修医 原田 洸

第13回日本病院総合診療医学会学術総会  
(2016/9/16, 17 東京都)  
「MRSa敗血症と多発膿瘍に対してECMOとHBOが奏功した一例」  
■岡山大学病院 総合内科、呼吸器・アレルギー内科、救急科 指導  
□ベストポスター賞 受賞



#### 研修医 伊藤 真未

第27回日本リウマチ学会中国・四国支部学術集会  
(2016/12/2, 3 広島市)  
「有痛性紅斑を伴った巨細胞性動脈炎の一例」  
■岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 腎・免疫・内分泌代謝内科学 指導  
□研修医奨励賞 受賞



#### 研修医 小柳 太作

第56回日本呼吸器学会中国・四国地方会  
(2016/12/23 岡山市)  
「ニボルマブ単回投与にて多発肺転移が器質化肺炎に近似した像を呈し、ステロイドにて転移が全て消滅した1例」  
■岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科 指導  
□初期研修医セッション優秀演題賞 受賞

### 病院長賞(権の木賞)



#### 研修医 西村 義人

2017.1.5「グローバルに活躍する若手医師の意識を育み後輩への教育に貢献」で岡山大学病院長賞(権の木賞)受賞



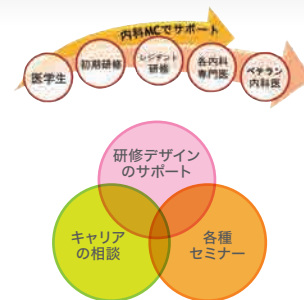
# マネージメントセンター

## 内科マネージメントセンター (内科MC) について

2010年度より岡山大学病院の6つの内科が協力し、内科マネージメントセンター (内科MC) を設立しました。マネージャーが、内科医を目指すレジデント・研修医・学生のための相談窓口となり、キャリア形成のサポートを行います。研修・キャリアの相談、研修デザインのサポートなどきめ細かいサポートを行います。また、岡山大学病院での研修のみならず、中四国に有する広いネットワークを生かし、関連病院での研修もサポートします。

「内科医を目指す方」全てにオープンな窓口です。

マネージャーと各科のコーディネーターが連携を図りながら内科医を目指す人を親身にサポートします。



●サポートの流れ



### 岡山大学病院・内科MC組織図



### 学生・研修医・レジデント

- 1 キャリアデザインをサポート**  
研修デザインのサポート、キャリアの相談など、スムーズな内科研修をお手伝いし、各内科専門医取得までのキャリアデザインをサポートします。
- 2 広いネットワークを生かした研修環境**  
中四国に有する広いネットワークを生かし、岡山大学病院及び関連病院での研修をサポートします。
- 3 新内科専門医制度で専門医を取得**  
岡山大学病院でのレジデント研修スケジュールをコーディネートします。
- 4 臨床研修と並行して、大学院入学も可能**

## 小児医療センターマネージメントセンター (小児医療センターMC) について

平成24年9月、岡山大学病院に先進的で総合的な小児医療の提供を目指して「小児医療センター」が設置されました。当センターは「小児医療の最後の砦」として、子どもたちに高度先進医療を安全に提供しています。

### 小児医療センターマネージメントセンターの特色

- 子どもに関わる診療を目指す学生、研修医が対象です
- 専門分野が決まっていない方も登録可能です
- 「子ども」をキーワードに研修しながらキャリア形成できるようにサポートします

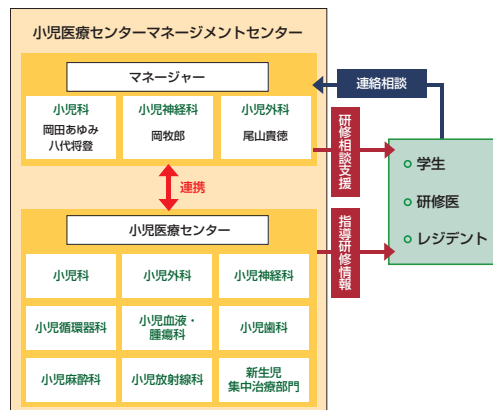
小児医療センター (後述) を構成する小児科、小児外科、小児神経科、小児循環器科、小児血液・腫瘍科、小児歯科、小児麻酔科、小児放射線科が協力して運営しています。

マネージャーが学生や研修医の相談窓口となり、キャリア形成のための情報を提供します。登録を頂いたら、研修・キャリアの相談や研修プログラムのサポートなどのきめ細かい対応を、担当マネージャーとコーディネーターが連携して行います。

「子どもに関わる診療を目指す方」全てにオープンな窓口です。各科横断的な研修を通して、専門的な指導を受けられるとともに、人のつながりという大きな財産を得ることが出来ます。

各科のコーディネーターについては、下記をご参照ください

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/pedhome/common/pedcenter.html>



## 外科マネージメントセンター (外科MC) について

2010年より消化器外科(旧第一外科)、呼吸器・乳腺内分泌外科(旧第二外科)、心臓血管外科の3教室が合同で外科医を育てる3教室合同外科研修プログラムを開始しました。特に最初から専門診療科を決定する必要はありません。最初の数年間は外科全般をローテーション研修します。研修期間中は専門医取得のための手術経験、業績を毎年チェックします。外科研修のうち最初の目標となる外科専門医取得から学位取得、subspeciality専門医取得のための専門外科研修医にいたるまでのキャリアパスを3外科教室合同で行います。これにより外科医を志す医師自身のキャリアパス選択の幅は広がり、充実した外科研修を提供できます。

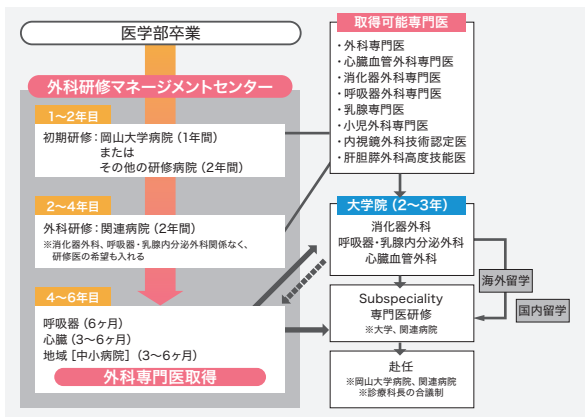
特に、外科研修施設、海外留学施設などの岡山大学関連ネットワークを統合させ、さらに各外科教室が持つ全国の専門研修施設とのつながりを加えることにより、若い医師個々のニーズに合わせた外科研修キャリアパスの可能性は無限大に広がります。単一施設での短期間のマッチング、研修では将来が不安ですが、当センターでは関連病院が中心となり長年バックアップします。



### 岡山大学病院・外科MC組織図



### 初期研修・後期研修・外科専門医研修からSubspeciality専門医まで



### 2011年度 岡山大学病院初期研修

- 2012年度は18名が外科研修プログラムに参加、うち3名が岡山大学病院へ
- 1年目
  - ・外科6ヶ月のうち2~3診療科を選択する
  - ・救急部門(3ヶ月以上)、選択必修科目(2科目以上、3ヶ月以上)
  - ・麻酔科(選択必修科目の2科目目として推奨)
- 2~3年目(希望の研修病院へ)
  - ・必修科:内科(6ヶ月以上) 地域医療研修1ヶ月
  - ・3年目以降は外科研修を継続
  - ・4年目以降もさらに研修病院のローテーション研修を継続。外科専門医取得後は地域中小病院での半年~1年間のプライマリケア研修。さらに専門外科研修へ。
  - ・大学院への入学は任意。
  - ・特に留学希望者は研究、学位取得は必要。

専門外科決定後も入局は不要です。診療科の変更や地元に戻るなどの理由により登録の削除も自由です。

## 回り道こそ近道

岡山大学病院 臓器移植医療センター  
大藤 剛宏 教授

「最初から肺移植医を目指したわけではない」。研修医時代、なんでもがむしゃらに食いついていた頃を懐かしく思う。CVラインや気管内挿管、内視鏡や透視検査、アッペ・ヘルニア…、できるようになるまでが最も楽しい。人並みにできるようになると、今まで見えてこなかったその奥深さに気づき、天狗になっていた自分が恥づかしくなり、少し落ち込んだりもした。ならばその道を究めようと再び燃える…。今までの医者人生はこの繰り返しだ。登山家はよく言う「目の前の山が大きければ大きいほどその頂上に立ってみたいくなる…」と。私の目の前に現れた「肺移植」という大きな山は、当時執刀できる外科医も少なく、また世界的にも成功率の低い治療であった。それだけに登ってみたいという気持ちはさらに大きくなった。移植手術は心臓と肺両方の技術を要し、免疫抑制等内科的知識もある。何でも自分で責任を持つ小さな病院で培った度胸は、世界初となる様な難手術を決断する時に背中を押してくれた。山頂への近道はないが、様々な経験はベースキャンプの標高を上げる。そこからだとみんなが目指すそれぞれの山頂は意外と近いのではないか？



# Message from Staff



## 皆さんのそばで真摯にそして共に喜びを

皆さんこんにちは、岡山大学病院・卒後臨床研修センターの野間です。

私たち卒研メンバーはいつも皆さんの明るい将来の一助になればと、心から思っています。現在の卒後臨床研修制度は、今までの数回の大きな改訂により導入当初より大きく変化し、そして多様化しています。そのような中私たちは少し人生の先を歩いている先輩として、皆さんのそばで共に将来を考え一つでもアドバイスが出来たらと思っています。『皆さんのそばで真摯にそして共に喜びを』そんなスタッフでありたいと思っています。

## 皆さん、医師としての将来像をどのように描いていますか。それは本当に素晴らしいものです。

いつも学生さんとお話する際に、将来の『仕事』について話をすることがあります。社会には様々な仕事があり、私たちの知らない領域でも多くの方が誇りを持って働いています。そのなかでカッコいい仕事って何でしょうか？私は職種によるものではないと思っています。基本的に仕事の本体は努力という裏地の張られた現実的で地味なものです。決していつも華やかなものではありません。ではなぜ人は時にキラリと輝いて見えるのか。それ

はまさしく取り組んでいるその人の熱意や真剣な態度がその仕事を輝かせているのではないのでしょうか。置き換えて考えれば、“そのような人であり続けること”それが皆さんの希望ではないのでしょうか。

## 岡山大学の卒後臨床研修では、皆さんの個々に合わせたプログラムを考えています。

岡山大学では、社会人となった皆さんの第一歩として皆さんの個性に合わせたプログラムを組めるようになっていきます。これから羽ばたいていく皆さんの可能性を掴むこと無くさらに広げ、そしてアカデミアを通して今後皆さんが一生涯医師として前向きにそして輝いて取り組めるようにと考えています。初期研修という枠組みだけでなく裾野の広がるこの岡山大学病院の卒後臨床研修プログラムで私たちと共に、これから大きく広がる医師としての第一歩を踏みませんか？“共に考え、共に歩み、そして共に喜びを”私たちと共に楽しく充実した初期研修を作っていきます。



卒後臨床研修センター  
医科研修副部門長  
野間 和広

## まずは、皆さんのビジョンを聞かせて下さい

はじめまして。岡山大学病院・卒後臨床研修センターの佐藤です。

これから医療人としてのキャリアをスタートする皆さんが、将来どの分野で、どのようなスタイルで医療に関わるプロフェッショナルとなるか、その選択肢は豊富にあります。

岡山大学病院は2020年に創立150年を迎える、長い伝統と関連病院との強固なネットワークが魅力の病院です。院内には各診療科の第一線で高度先進医療を提供する臨床医はもちろん、世界に目を向け基礎医学・臨床医学の発展に貢献することを目指す研究者、そして、皆さんのような若い医療人の育成・教育に情熱を傾ける教育者など、一人でも何役もこなす医療人の先輩方が多数いらっしゃいます。また、希望すればプライマリケア重視の関連施設での研修も可能なため、地域医療の現場にいるプロフェッショナルから指導を受けるチャンスもあります。

このような、多種多様なロールモデルとなる先輩方と出会い、指導していただく機会を持つことができることが、岡山大学病院で研修を行うことの大きなメリットだと私は考えます。また、共

に学び成長する仲間と多く出会えるのも、毎年30-40名の研修医を迎えている当院で研修を行う魅力の1つと言えるでしょう。

既に医療人として自分が目指すビジョンが明確になっている方は、その実現のために最適當院の研修プログラムをオーダーメイドで提供させていただきます。まだそれが明確でない方は、研修を通して多種多様なモデルとなる先輩方から指導を受けながら、そして日々仲間と共に学び研鑽する中で、目指したい医療人としての姿を具体的に描くプロセスもサポートさせていただきたいと考えています。

まずは、皆さんのビジョンを聞かせて下さい。  
皆さんの医療人としてのスタートが充実した時間になるよう、応援しています。



卒後臨床研修センター  
助教  
佐藤 明香

## 研修先を悩まれている学生さんへ

はじめまして。岡山大学病院・卒後臨床研修センターの宇賀と申します。2017年4月に当センターに着任致しました。私自身、岡山大学病院で初期研修を致しましたが、当時お世話になった先生方と一緒に、今度は研修医の先生のサポートをする立場になったことを喜んでおります。

初期研修の2年間は医師としてのスタートであり、医療人として、人として大きく成長する期間です。しかし、実力不足を感じて不安になったり、理想の自分を遠く思っ焦ったり、壁にぶつかることも多いと思います。そんなとき、たくさんの同期、先輩の存在は心強いものです。もちろん、私を含め卒研センターも全力で重荷を軽くするお手伝いをさせていただきます。

岡山大学病院の研修プログラムの最大の特徴は、「多様性」です。皆さんそれぞれに理想があり、そこに到達する方法も違いま

す。それぞれの歩幅で、それぞれの個性にあったプランを計画しましょう。

迷って立ち止まったときは、一緒に解決策を考えましょう。

当院の研修プログラムは年々進化しています。これからも、皆さんの意見を取り入れ、より良いシステムになるよう柔軟に対応していきます。皆さんと一緒に日々成長していきたいと思っています。

4月にお会いできるのを楽しみにしています。



卒後臨床研修センター  
助教  
宇賀 麻由

# 研修医 1日 Q&A

## 内科系診療科

平成28年度先進プログラム

原田 洸 先生



### 研修メモ

内科系診療科では入院患者さんを中心に診療をします。検査のオーダーや薬剤投与量調節、点滴の投与量や食事内容など、入院から退院までに必要な手続きを研修します。心臓や腹部エコー、上部内視鏡検査、中心静脈カテーテルの挿入や腰椎穿刺などの手技も多く経験できます。指導して下さる先生が多く、いつでも疑問に思ったことを聞くことができるため、安心して診療にのぞむことができます。学会発表や論文の執筆などの機会も豊富にあることは、大学病院の研修ならではのものだと思います。

### スケジュール

6:30	●起床
8:00~8:30	●回診
8:30~9:00	●カンファレンス
9:00~10:30	●手技・病棟業務
10:30~12:30	●外来
12:30~13:00	●昼食
13:00~16:00	●病棟業務
16:00~17:00	●カンファレンス
17:00~19:00	●病棟業務・勉強会など
20:00	●帰宅



### 大学での研修のメリットは？

大学病院の研修と複数の市中病院の研修を組み合わせることで、「いいとこどり研修」ができるそうです。またシミュレーターや図書館などのリソースが豊富にあり、学会発表や論文執筆などを指導して下さる先生が多く、アカデミックな面でのサポートが充実しているそうです。

### お給料はどうですか？

他の市内の病院や、他県の大学病院と比較すると大差はなく、生活には困らない程度のお給料だと思います。たすきがけで働く先の病院によっては、かなり貯金ができる場合もあります。

### たすきがけはどうですか？

カルテの使い方やスタッフの名前を覚えるのに多少苦労しますが、たすきがけ先の病院はアットホームな雰囲気の病院が多く、思っていたよりも早く馴染めました。色々な先生と関わることができ、幅広い疾患にふれることができるため貴重な機会になります。

### 休みや自由な時間は何をしていますか？

学会発表の準備や回っている科の勉強をすることもあれば、旅行に行ったり同僚の研修医と飲みに行ったりすることもあります。

## 外科系診療科

平成28年度先進プログラム

勝部 璃子 先生

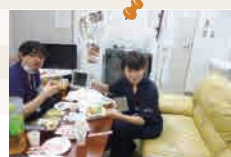


### 研修メモ

外科系診療科ではグループの一員として様々な業務を行います。外来から手術室まで活動の場は幅広く、実際に手を動かして経験をすることで技術を磨くこと、身体所見や検査データから病態を把握することができます。内科系に比較して受け持ち患者数は少ないですが、一人の患者さんから学ぶことは多いと思います。外科では積極的に挑む姿勢があれば、チャンスを手に入れることができ、様々な経験を積むことができます。

### スケジュール

6:30	●起床
7:30~8:00	●一人で回診
8:00~10:00	●チーム回診・病棟処置
10:00~12:30	●外来
12:30~13:00	●チームで昼食
13:00~17:00	●病棟業務・手術ビデオ勉強
17:00~18:00	●カンファレンス
18:00~18:30	●チーム回診
18:30~19:30	●病棟業務・翌日の手術準備
20:00	●帰宅



### 大学病院での研修のメリット

私自身、大学病院と市中病院のどちらかで研修をするか悩みました。結果、大学病院を選んだ一番の理由は、専門性の高い様々な職種とのつながりができるからです。他大学出身であることもあり、知り合いがいない状態からのスタートでしたが、大学内の様々な科をローテーションすることで、将来進む科以外の先生方・医療スタッフの方々と知り合うことができました。医療で重要となってくる人と人とのつながりを広げるには、多くの人が集まる大学病院が一番だと思います。

### 入局はした方がよいか

最近では必ずしも入局という選択肢のみではありません。様々な形態で働かれている先生がいらっしゃるため、色々な意見を聞いて決めても遅くないと思います。

### 帰る時間は

各科により異なりますが、外科系だと手術の有無により変わってきます。手術がなければ19時頃には帰宅できることが多いです。





# サポート環境

岡山大学病院は、病院を挙げて研修医生活をサポートしています。  
アメニティ施設・設備が院内の各所に点在しています。

## Shop

入院棟「マルシェ」他、外来診療棟コンビニエンスストア・薬局なども完備されています。



ローソン (外来診療棟 1階)



マルシェ (入院棟 1階)



薬局ぶちふるま  
(入院棟 1階)



生協コジカショップ  
(記念会館 1階)



リカバリービューティーケアサロン  
(中央診療棟 1階)

## Break

研修の合間に美味しいコーヒーで休憩してみたいはいかがですか？



スターバックスコーヒー  
(外来診療棟 1階)



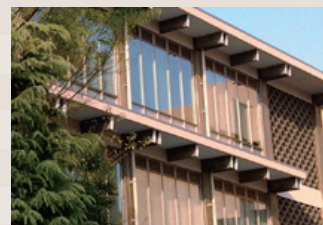
上島珈琲 (中央診療棟 1階)



ONSAYA COFFEE (図書館 1階)

## Library

医学部図書館 (鹿田分館) を利用することが出来ます。申請をすれば、本学図書館 (津島) も利用可能です。



図書館 (鹿田分館)

## Restaurant

H26に中央診療棟 1階のレストランがリニューアルされました。



カフェテリア バンビ(記念会館 1階)



レストラン (中央診療棟 1階)

## 子育て支援

お子様がおられる研修医の先生も、院内に保育園があることで安心して研修に集中することが出来ます。



保育園 (なかよし園)



病児保育 (ますかつと)

## Bank & Post

中国銀行 ATM が設置されている他、院内に郵便ポストを設置しています。



ATM (外来診療棟 1階)

## 研修医ROOM

中央診療棟 5階の卒後臨床研修センターでは、研修医室 (各自の机有り)、ロッカールーム、仮眠室 (男女別)、研修医カンファレンスルームが設備され、研修や勉強がしやすい環境をご用意しています。



研修医室



研修医仮眠室



学習室

## NEW!! 総合診療棟

「総合診療棟 (II)」

2017年5月に総合診療棟 (II) が始動します。

5階には卒研センターのフロアがあり、新・研修医室には、PCルームや仮眠室、団らんコーナーなどが設けられています。

病棟とのアクセスも良好で、カンファレンスルームも隣接しています！



# キャリア支援



岡山大学病院にはライフイベントと医師としてのキャリアの両立を目指す医療人を支える「医療人キャリアセンター MUSCAT」が設置されています。いきいきと働きキャリアアップを目指す病院として全国的にも注目される取り組みです。

ワークライフバランスの視点を備え、出産・育児・介護などの様々なライフイベントを経験しながらも生涯医師としての研鑽を続けられるよう病院全体として応援しています。研修期間中に妊娠や病気などで研修を休む場合は卒後臨床研修センターにご相談下さい。休業が3ヶ月以上とならなければ2年間の研修修了が可能です。妊娠中や復職に関する相談にはキャリアセンターが親身に対応します。出産後も授乳室、保育園、病児保育ルームなど充実した育児支援を活用してスムーズな復職が可能です。



充実した最新設備を誇る  
人材育成施設

地域医療人育成センターおかやま (MUSCAT CUBE)

平成24年9月にオープン、1階は高機能シミュレーションセンター (MUSCAT Sim) で、研修医の先生方のスキルトレーニングに最適です。



医療人支援室：授乳、託児が可能です



育児と仕事を両立している  
コーディネーターが相談に乗ります



先輩の声を聴ける交流会を定期的に関  
メンターに出会うチャンスです



産休・育児後の復帰前にはシミュレーション  
トレーニングで自信を持って現場復帰を

素敵な  
白衣で大人気!

マタニティ白衣の  
無料レンタルもできます

## 研修医メッセージ

### ●平成25年度先進プログラム



### 松田 文子 先生

学生の間に2児を儲け、子育てをしながら初期研修を開始することとなりました。研修先を選ぶ条件として、保育園など生活環境を変えずにすむこと、興味のある科が全て揃っていること、病院全体として子育てに理解があること(ととても大事!)、という3点を重視し、それらをすべて満たす岡山大学病院を選択しました。

4月からこれまでに5つの科を回りましたが、どの科の先生方も理解があり、カンファ等特別な予定がない日は、遅くても19時のお迎えには間に合うよう帰らせてもらっています。お休みを頂いて保育園の行事に参加したことも数回あります。また、まさか病児保育ルームには何度もお世話になっており、むしろ子供が発熱したがるほど丁寧な保育をして頂けるので大変助かっています。働き始めるまでは、大学病院の支援制度に甘えて研修しては医者として成長できないのでは...!? という不安もありましたが、最近では逆に、たっぷり甘えていい研修にしようと思っています。子育てをしていると時間的制約が生じるのは避けられないので、自分ができる範囲で工夫する他ありません。卒研センターのサポートのおかげで『できる範囲』が広がり、姿に引け目を感じることなく研修させてもらっており、大学病院を選んで本当に良かったと思っています。

### ●平成26年度先進プログラム

### 光井 佳代子 先生



私は初期研修1年目を市中病院で行い、産休を経て主人の転勤に伴い、2年目を岡山大学病院で研修させていただきました。研修を再開するにあたって、新しい環境下であるということや、1年目の研修時にはなかった時間的制限と産休期間中に失ってしまった知識の多さにとまどうことがかりでした。

しかし共感してくださる先生、勉強不足の私に基礎からご指導して下さる先生、たくさん先生にお世話になり、充実した研修生活を送ることができました。また、卒後臨床研修センターの先生には、前医での研修を中断する前からお世話になり、私の途中からの岡山大学病院での研修を受け入れていただきました。研修を始めてから、会うたびに「先生大丈夫?」と声をかけていただいたり、相談のってくださったりと大きな心の支えとなっていただきました。

岡山大学病院の良いところは、各々の科に多くの医師がいて、仕事に関してはもちろん、生活面に関しても様々なアドバイスをいただけること、また、卒後臨床研修センターというバックアップのもとで研修ができることだと思います。

子育てと仕事の両立に不安を抱えている方、岡山大学病院なら大丈夫です。ぜひ一度卒後臨床研修センターの先生にご相談してみてください。



# マッチング状況・研修医処遇

## ◆マッチング実績大学一覧

岩手医科大学、筑波大学、金沢大学、金沢医科大学、獨協医科大学、東京医科大学、北里大学、昭和大学、東京女子医科大学、埼玉医科大学、山梨大学、富山大学、福井大学、愛知医科大学、近畿大学、大阪医科大学、関西医科大学、兵庫医科大学、滋賀医科大学、京都府立医科大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学、岡山大学、川崎医科大学、香川大学、山口大学、高知大学、徳島大学、愛媛大学、島根大学、鳥取大学、福岡大学、大分大学、久留米大学、長崎大学、産業医科大学、佐賀大学、宮崎大学

## ◆マッチング状況

採用年度	マッチ者数	自学出身者数	男女比	
			男	女
平成25年度	29	9	20	9
平成26年度	39	20	26	13
平成27年度	44	22	31	13
平成28年度	37	16	26	11
平成29年度	46	20	24	22

## ◆研修医処遇 (平成29年度)

身分	医員（研修医）として採用（1年毎の更新とする。）
給与	月額337,600円（税込） （給与187,600円＋臨床研修手当150,000円、超勤手当・住居手当代を含む。）
通勤手当	通勤距離が片道2km以上からの場合、支給される。 （手当額は、距離・方法により異なる。）
勤務時間	8：30～17：15 ※救急科研修期間及び救急外来はシフト勤務（夜勤有り）による。
休暇	年次有給休暇、夏季休暇、年末年始、忌引、病気休暇（無給）など。
宿舎	なし。現在、検討中。
社会保険など	厚生年金及び全国健康保険協会の健康保険に加入。 労災保険、雇用保険あり。
医療保険	研修医が自主的に加入した保険（必修）及び大学病院において加入する保険。
病院内の研修環境	総合診療棟西棟5F北西側は主として研修医の研修のために整備されたスペースである。 研修医専用の医局、休憩室、仮眠室、自習室、カンファレンスルームも隣接している。 また、スタッフルームも研修医専用医局に隣接しており、いつでも研修医の相談に対応できる。
備品	机、椅子、LAN端末、ロッカー、ソファ、仮眠ベッドなど。
教育資料	研修で必要となる書籍、インターネットでの文献検索など（UpToDate、医中誌）は、無料で自由に利用可能なパソコン環境が整備されている。院内PHSは病院の費用で研修医に貸与する。
学会活動	学会に参加し発表する際は旅費・参加費支給。（回数・上限有り）
評価	EPOC（研修医オンライン評価システム）にて評価。
事務担当	研修医に関する事務担当者5名、卒研センター1名（病院総務課卒後研修担当4名）

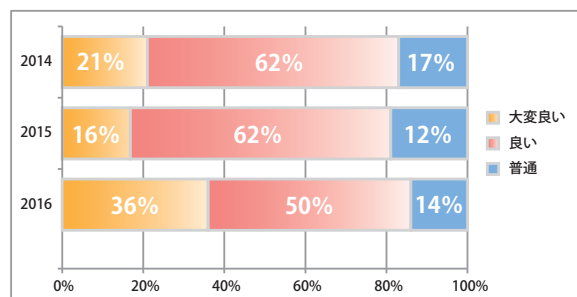


## シームレスな 新専門医研修に向けて

2018年4月より、「新たな専門医研修」が始まる予定です。岡山大学病院では、基本領域の専門研修プログラムを準備しています。基幹病院としての研修を行い、協力型病院と連携することにより、経験目標に沿った研修を提供します。また、学術活動も活発であり、大学図書館やUpToDateを使用し、EBMに基づいた医療の実践や学会発表・研究の機会も豊富です。さらに医学生や初期研修医への指導を通し、知識や技能の定着を図ることができます。今後の subspecialty 専門医や生涯学習にシームレスに移行できます。

## 研修医アンケート結果 (2016年3月実施)

毎年、研修医に岡山大学病院の研修内容についてアンケート調査を行っています。  
岡山大学病院研修に対する満足度が高いことが伺えます。



# 年間スケジュール

医 学 生	平成 29 年度～ 30 年度	研 修 医
<ul style="list-style-type: none"> <li>● マイナビフェア</li> </ul>  <p>マイナビフェア</p>	<p>4月 April</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4月1日 入職式 [1年目]</li> <li>● 歓迎会 [1年目]</li> <li>● 4月 研修医ICLS [1年目]</li> </ul>  <p>入職式</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● マッチング参加登録開始</li> <li>● 岡山大学プログラム応募開始</li> <li>● オープンホスピタル</li> </ul> <p><b>close up</b> オープンホスピタル 2017 オープンホスピタルでは診療科がブースを設置し、説明を聞くことが出来ます。院内ツアーも行います。</p>	<p>5月 May</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 7月2日 レジナビフェア大阪</li> <li>● 岡山大学プログラム応募締切</li> <li>● マッチング説明会 (5年生対象)</li> </ul>	<p>6月 June</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒研専属医師による個人面談 [1年目・2年目]</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● マッチング参加登録締切</li> <li>● 岡山大学病院研修医採用試験</li> </ul>	<p>7月 July</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 納涼会 [1年目・2年目]</li> </ul>  <p>納涼会</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● マッチング希望順位登録受付開始</li> <li>● マッチング希望順位登録中間発表前締切</li> <li>● マッチング中間発表</li> </ul>	<p>8月 August</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● マッチング希望順位登録最終締切</li> <li>● マッチング組み合わせ結果発表</li> </ul>  <p>マッチング説明会</p>	<p>9月 September</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次年度1年目 研修医進路相談科調査</li> <li>● マッチング説明会 (4年生対象)</li> </ul>	<p>10月 October</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次年度2年目研修医ローテーション調査 [1年目]</li> <li>● 地域医療病院との顔合わせ会 [1年目]</li> <li>● 卒研専属医師による個人面談 [1年目・2年目]</li> </ul>
	<p>11月 November</p>	
	<p>12月 December</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医師国家試験</li> <li>● 次年度1年目研修医ローテーション調査</li> <li>● ローテーション相談会 (又は3月)</li> </ul>	<p>1月 January</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次年度2年目ローテーション決定</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医師国家試験 結果発表</li> <li>● マッチング説明会 (新6年生対象)</li> </ul>	<p>2月 February</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修医OSCE [1年目]</li> <li>● 振り返りミーティング [1年目]</li> </ul>  <p>研修医OSCE</p>
	<p>3月 March</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 研修修了式 [2年目]</li> </ul>

## 研修医募集要項

- 【応募資格】 平成30年3月に卒業し(あるいは既卒)、平成30年第112回医師国家試験を受験する者で、平成29年度医師臨床研修マッチングシステムに参加登録を行う者
- 【応募期間】 平成29年6月19日(月)～7月7日(金)  
持参の場合:平日のみ受付 9:00～17:00、郵送の場合:応募期間内必着
- 【提出書類】 1. 医師卒後臨床研修願(本院所定のもの)  
2. 履歴書(本院所定のもので、写真貼付のこと)  
3. 卒業(見込み)証明書 4. 成績証明書 5. 受験票及び写真票  
6. 返信用封筒:長形3号封筒に、出願者本人の宛名を記載したもの。(切手は不要です)
- 【応募先】 岡山大学病院 総務課 卒後研修担当
- 【募集人数】 46名程度
- 【選考試験日】 平成29年7月29日(土)、8月1日(火)、8月11日(金、祝日)、8月24日(木)
- 【選考方法】 面接試験(面接内容に医学知識の口頭試問を含む)
- 【採用時期】 平成30年4月1日採用予定
- 【その他】 応募書類及び詳細はホームページをご覧ください。http://www.okayamau-hp.jp/



岡山大学病院  
卒後臨床研修センター 医科研修部門

〒700-8558 岡山市北区鹿田町2-5-1 (総合診療棟西棟5F)  
TEL 086-235-7508・7877 FAX 086-235-7636  
E-mail : sotsugo@adm.okayama-u.ac.jp  
<http://www.okayamau-hp.jp/>



<https://www.facebook.com/okadairesident>



 バスでお越しの場合

- 岡山駅東口バスターミナル「6番乗り場」から「2H」系統の岡電バスで「大学病院」構内バス停下車
- 岡山駅東口バスターミナルから「12」・「22」・「52」・「62」・「92」系統の岡電バスで「大学病院入口」下車
- 岡山駅前（ドレミの街前または高島屋入口）から循環バスで「大学病院入口」下車

 タクシーでお越しの場合

- 岡山駅タクシー乗り場から約5～10分

 路面電車でお越しの場合

- 岡山駅前から「清輝橋」行きで約12分  
「清輝橋」下車西へ徒歩約5～10分